

食物栄養学専攻

—学位授与・教育課程編成・入学者受入れの方針—

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【学位授与の前提となる教育理念】

食物栄養学専攻は、食物栄養学分野において、幅広い知識と高度な研究能力、技術を備え、高度職業人として社会に貢献する人材を養成します。

【身につけるべき力】

- ・生涯にわたり広い視野に立って食物栄養学に関する知識を探求するための論理的思考力
- ・変化する食環境に対応して問題点を拾い上げる的確な分析力
- ・問題解決のための科学的議論に参画できる実践的コミュニケーション能力

【学位授与の要件】

上記の資質・能力を身に付け、所定の期間在学してカリキュラム・ポリシーに沿って設定された授業科目について所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで修士論文の審査に合格した学生に修士（学術、生活環境学、家政学のいずれか）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【基本的なカリキュラム構造】

学生は履修系列として、専門的能力を深化させる専修系、視野を広めた優秀な人材を養成する複合系のどちらかを選択し履修します。教養科目群では大学院生に必要な教養を培います。論文等作成群では修士論文の執筆に向けて指導を行います。

【教育の内容と方法】

本専攻では、健全で快適な食生活の創造を目的として、医学、農学、薬学、工学などの専門領域の情報を集約し、食物の栄養性・機能性・安全性・嗜好性・調理加工性などに加えて、臨床栄養学や臨床疫学的研究など、分子レベルから生体、さらには人の集団を対象とする研究まで、広い範囲にわたって研究・教育を行います。さらに生活環境学部からの6年一貫教育プログラムでは、学部から修士論文作成まで継続的に研究を行い質の高い修士論文作成を目指すとともに、留学など学外での学修を自ら柔軟に設計することが可能です。

【学修成果の評価】

開講科目は、シラバスに成績評価の方法を明示します。修士論文は、提出された論文と口頭試問によって評価します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念】

本専攻は、病気を予防し、健康を維持・増進する食生活を実現するために、現代の食に関わる多様な問題について研究・教育することを目的とします。したがって、広い視野に立ちこの分野に対する意欲的な研究マインドを持つ学生を望みます。

【求める学生像】

- 一定の科学的知識を備えている
- 食物栄養学において将来の科学的展望を切り開いていこうとする意欲がある
- 科学論文を理解する語学力と読解力がある

【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

食物栄養学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」（TOEFL、TOEIC、もしくは英語の筆記試験）、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

社会人特別選抜

食物栄養学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」（TOEFL、TOEIC、もしくは英語の筆記試験）、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された研究論文等を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

食物栄養学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」（TOEFL、TOEIC、もしくは英語の筆記試験）、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された日本語能力確認書類を総合して判定します。

6年一貫教育プログラム特別選抜

6年一貫教育プログラムにおける成績を用いた書類審査により判定します。